

# 中学道徳通信



バラバラな個性を  
心一つのチームに!



## 「全員が大野将平である 必要はないんです」……2

柔道家 前柔道日本代表監督 井上 康生



**特集** 年間指導計画のつくり方

CASE  
STUDY  
1

年間指導計画作成の  
ポイント……6

道徳教育研究家 菅 明男

CASE  
STUDY  
2

ユニット型指導案とは……10

千葉県柏市立大津ヶ丘中学校 道徳推進教師 橋本 舞佳

CASE  
STUDY  
3

独自教材を生かした  
指導案……12

私立浪速中学校 道徳教育推進委員長 松尾 大輔

Google クラウドの賢い利用法……14

京都芸術大学文芸表現学科 講師 小倉 千明





バラバラな個性を心一つのチームに！

# 日本柔道界を復活させた「個」を伸ばす指導の極意

前柔道日本代表監督 東海大学体育学部教授 井上 康生

東京2020柔道協議の最終日、柔道男女混合団体はフランスに敗れ銀メダルに終わりました。大騒ぎするフランスチームへ拍手を送る日本選手、なかには下を向く選手もいましたが、表彰式終了後には、選手はもちろん、サブの選手、コーチやスタッフが一つになって、井上康生監督を胴上げしました。

**全員で写真を撮るぞ。  
さあ、胸を張れ！**

「じつは、いい意味で仕掛けたんです。個人戦での好成绩なんか全部流れてしまうような形になってしまったのではないかと。最初は選手たちがそういう表情をしていました。『運うぞ、お前ら！ 結果は2位だった。今後につなげるためには、よく分析して、次につなげていかなきゃいけない。反省もしなくてはならない。でも、このオリ

ンピックですごいことをやったんだよ。だから、胸を張れよ」と

会場を去る前に皆を集ませ、「全員で写真を撮るぞ！」というような感じで、ぼつと盛り上げたという井上さん。すると、選手たちの表情がすっとしたようになって、胴上げに至ったそうです。

昔は、負けたら「お前ら、悔しがれ！とことん、悔しがれ」と言ったもので、それが本気だった証拠だと思われるのですが、井上さんもかつてはそうだったのですが、「心境の変化っていうか、私が悔しがれと言うべきことじゃないということに気づいた部分があったからです」

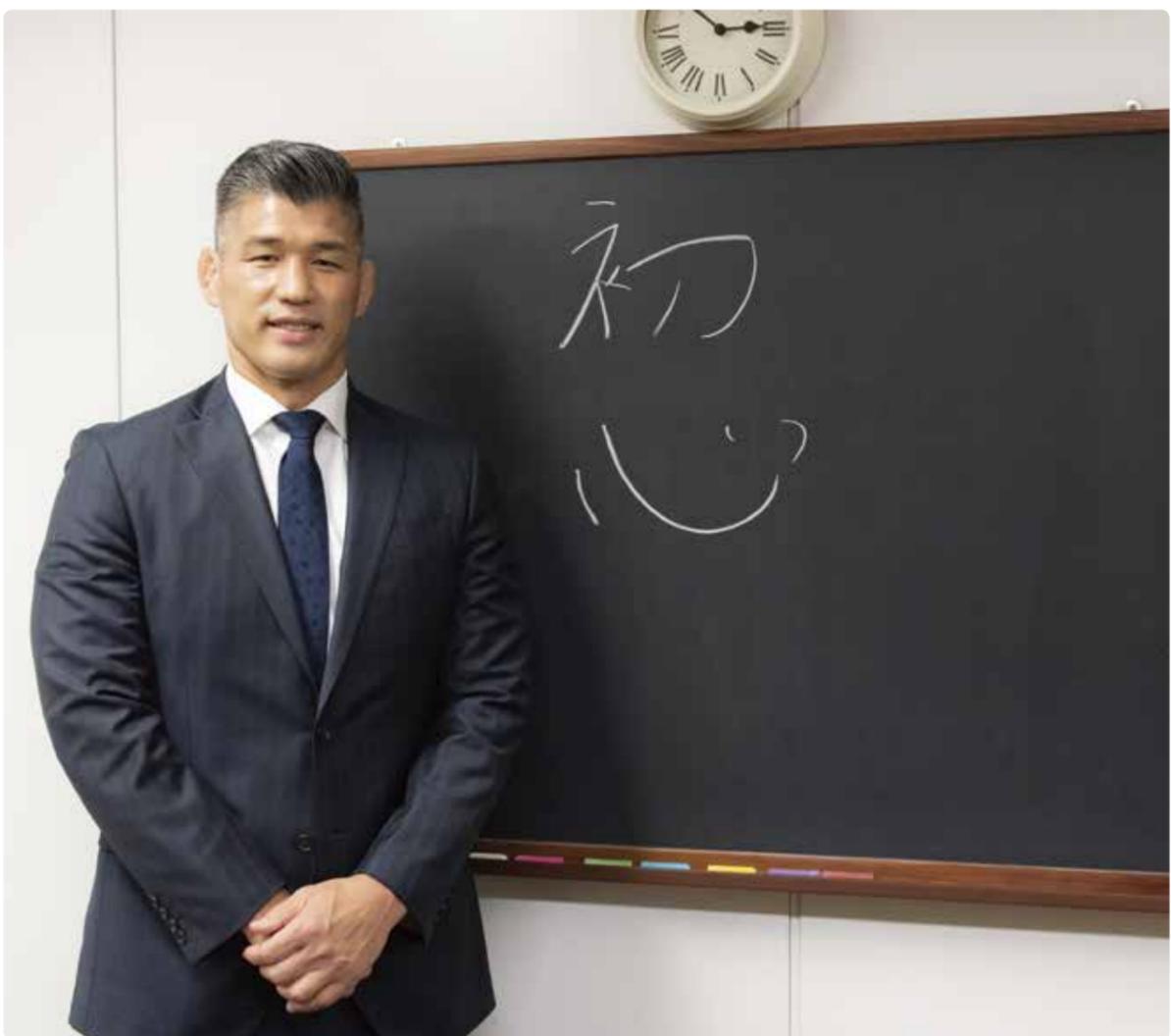
代表監督として、現場でいろいろと指導するなか、本当に難しいと思うことがあるそうです。それは、社会が変われば、指導も変えていかなくてはならないことと、変えるべきではないということ。そこを、どう捉えてやっていくべきかということ。その中から「胸を張れ！」は、井上さんの心の中から発した、真実の言葉だったのです。

## 対フランス戦で柔道の国際化の新しいフェーズに入った

あの最後の団体戦について、井上さんはこう語ります。

「二つの観点があって、一つは代表監督

全日本選手権3連覇、シドニーオリンピック金メダル獲得など、柔道史上にその名を刻む井上康生さん。先の東京2020オリンピックでは、男子柔道のナショナルチームを率いて、金メダル5つという過去最高の好成绩を納めたことは、皆さまの記憶にも新しいことでしょう。大会後、マスキミの取材を極力抑えてこられた井上康生前日本代表監督ですが、道徳教育に情熱を注ぐ先生方の参考になればと、インタビューに快く応じていただきました。



井上 康生 (いのうえ・こうせい)  
前柔道日本代表監督 東海大学体育学部教授

日本柔道代表監督就任後は、従来の指導方法を見直し、科学的なトレーニングや映像分析、異種格闘技の体験など、さまざまな改革に着手、低迷が続いていた男子柔道を復活に導いた。2021年の東京大会では史上最高成績を残し2期9年の任期を終えるも、2024年パリ五輪のJOC強化対策のリーダーに就任。「初心」は「初心にかえって頑張れ」と亡きお母さまの手紙に励まされスランプを脱したことから、サインをする際に書き添える揮毫。

としては、目標を金メダルというところに設定した上で戦略的、戦術的なもの考えたときに、失敗があったんです。なぜかという、団体戦は男子3人、女子3人の編成です。男子は73キロ級、90キロ級、100キロ超級の選手によって争われます。73

キロ級はエースの大野将平選手がいますが、他の階級はメダルゼロなんです。団体の場合、男子の3人中2人は必ずポイントを取る選手をつくらなきゃいけなかったのですが、それができなかった。もう一つの観点は、まさしく柔道が、さらなる国際化した証明でもあるということです」

柔道の創設者で「柔道の父」とよばれる嘉納治五郎(弊社1年教科書に掲載)は、戦争の悪化で幻となった1940年の東京

オリンピック開催に向けて尽力し、戦後、1964年に開催された東京大会の足掛かりを築いたことでも知られています。

「嘉納治五郎先生は、一監督として『お前、何やってるんだ。もうちょっと頑張らなきゃダメだろう！』ということをおっしゃる一方、『いやあ、あの一戦で柔道が世界的な競技になったな、嬉しいよ』などと、喜ばれているんじゃないかなとも感じるところがあります」

振り返れば、初めて柔道が正式種目採用された64年の東京オリンピックでも同じような光景がありました。無差別級で、オランダのアントン・ヘーシンクさんが神永昭夫さんを破ったのです。日本柔道が敗れた日ともいえますが、国際化する扉が開いた

バラバラな個性を心一つのチームに！  
日本柔道界を復活させた「個」を伸ばす指導の極意  
井上 康生





まずは「個」を尊重することから。  
メンバー全員を大野将平に育てようとは  
1ミリも思いませんでした。

**武道とスポーツの狭間で  
感情を抑えるべきか**

「良い悪いは別として、ガッツポーズが問題になります。決して、相手のことを見下したり、軽視したりしている行動ではありません。ただ結果的にそう映ってしまっている部分はあると思いますが、あれは自己肯定感というか、自身に対する喜び、褒美などの表れです。ただ、武道家としては、敢えて抑え、コントロールして、相手のことを思うというのが理想ではあります」

問われたら、絶対に違うと答えます。それは礼儀とのバランスが大切だからです。日本代表になったからには自覚や責任をもった上での言動が求められるということです。しかし、代表クラスでも、それが理解できない選手がいたと言います。

瞬間でもありました。そして、この団体戦の結果が、国際競技として発展していく過程で、新たなフェーズに入ったと言えるのかもしれません。

「男女団体混合っていうものにも意味があります。ジェンダー問題だとか、柔道が社会において、新たにいろいろなもの発信しているチャンスでもあるのではないかと思います」

柔道は嘉納治五郎が唱えた「精力善用」「自他共栄」に表れているように、師の哲学から生まれました。井上さんは、武道としての柔道のイメージを考えた上で、世の中が変わっていく中で、今後、どのように

「良い悪いは別として、ガッツポーズが問題になります。決して、相手のことを見下したり、軽視したりしている行動ではありません。ただ結果的にそう映ってしまっている部分はあると思いますが、あれは自己肯定感というか、自身に対する喜び、褒美などの表れです。ただ、武道家としては、敢えて抑え、コントロールして、相手のことを思うというのが理想ではあります」

「その選手と出会ったときに、どうサポートしていけばいいのかわからないこと、悩んだ時期もありました。なんでこんなことがわからないのだろう。ですが、深くその選手の行動を見ていくと、弱者には、めっちゃめっちゃ優しい。子ども、老人や障がいのある方には、じつに献身的なのです。そういう一面にも気づくことができました」

も思いませんでした。それぞれの個性があるので、まず「個」を尊重し伸ばすことを重視しました」

選手によっては、やんちゃな部分を出しながらSNSで発信するなんていうことは日常茶飯事でした。ゲーム好きなある選手はゲームに熱中する様子を次々と発信する。

「そんなのは許容範囲でした。しかし、調子に乗って、例えば法に触れるゲームでもしてしまったり、取り返しのつかないことになります。ですから、そういうところまで行かないようには指導しました」

まるで、中学校の生活指導のようです。時には、厳しく叱ることもありましたが、ちよつと前までだったら「げんこつ一つやる」とかということで済まされたものが、社会の変化のなかで、あり得ないことになりました。

とはいえ、これからの人生をより良く歩んでいくという目的は不変です。指導者としては、強くガーターて言ったことが、パワハラだと勘違いされないように接することも、強く意識したそうです。

今回のオリンピック代表チームは、柔道界が一体となってバックアップしたといわれていますが、リオ大会のときは、選手が所属する企業や大学の協力を得るのは簡単ではなかったそうです。さらに、井上さんはさまざまな改革を推進したので、協会の

**ウイニングカルチャーが  
定着した日本柔道界**

理解をなかなか得られなかったことも。

「この4年間で、スポーツ界で話題になっ

ているウイニングカルチャーが誕生し、それが当たり前になってきました。かつては、所属は所属、代表は代表と、柔道界の方向性がバラバラで、ただ『金メダルを狙う』という漠然とした目標だけが掲げられていました。しかし、大きく改善し体系化できたので、方向性が定まり次なるステージで戦えたということがありました」

このコロナ禍のなか、人々が敏感になって、身内を防御していかなきやいけないという環境下だったにもかかわらず、代表チームに協力を惜しむことはありませんでした。代表チーム側としても、例えば、検査を行うとか、ワクチンを一刻も早く打たせてもらえるよう努力していききました。

そして、オリンピックの1年延期ということも大きかったようです。柔道をやりたくてもやれなかった環境が、選手の自立を促し、「個」で自分を強くするということが結びつきました。自分ではどうしようもないなか、オリンピックという舞台に立つことができたという感激と感謝の気持ちが生まれました。

それを強烈に感じたのは、優勝した選手のインタビューでの対応でした。彼らがいちばん最初に言ったのが「嬉しいです」「金メダルを取れてよかったです」ではなく「開催していただいて本当に感謝します」という言葉でした。

「こういう言い方をしたら不謹慎かもしれませんが、やんちゃな選手たちが、このような優等生的なコメントを出すなんて、私は想像もしていませんでした。ああ、彼らは苦しみ、その中で、サポートしてもらい、開催までこぎつけてくれた関係者に感謝できるようになった。その境地にたどり着いたんだろう。人として成長したと実感しました」

スポーツ界が、ただ勝った、負けた、金メダルを量産した、取れなかったなんていうことだけで終わっては、東京オリンピックの意義はゼロになってしまうと井上さんは危惧しています。

「我々は未来に向けて、この経験をもとに、どのようにして、次なるところにもっていくかということ深く考えなくてはならないと思います。柔道日本代表監督を辞した者が、柔道界から求められるかどうかかわかりませんが、私自身は、柔道の普及に携わっていききたいと感じています」

文 編集部 写真 平野晋子



バラバラな個性を心一つのチームに!  
日本柔道界を復活させた「個」を伸ばす指導の極意  
井上 康生

# 道徳の実践研究者が 強力アドバイス！ 年間指導計画 のつくり方

新年を迎え心新たに各学年の仕上げにかかる学期に入りました。同時に新年度の年間指導計画を立てる準備期間でもあります。今年度とまったく同じような計画でいいのか。生徒たちを道徳の授業に引き込むに足る計画だったのだろうか。来年度はもっと深い授業がしたい。昨年の経験を生かし、より楽しい道徳の授業を行うためにぜひ使っていただきたいのが、日本教科書のホームページに格納してある「年間指導計画資料」です。それを土台に、道徳の実践研究者が各校の実情にマッチした独自の設計図を大公開しました。これらを参考にすれば、効率よく年間指導計画が立てられるはずです。



学校の実情に合わせた周到な準備を！

## 年間指導計画は中学3年間の学校教育すべてに関連する授業の設計図

道徳教育研究者 菅明男

道徳教育は、道徳の時間だけでなく、各教科の学習はもちろんのこと、総合的な学習の時間、特別活動、学級における生活など、3年間の学校の教育活動すべてにおいて関連して行われるものです。それだけに道徳の時間は貴重であり、学校の実情に合わせた、周到な計画が求められます。

文科省学習の指導要領解説には、道徳教育の、全体計画に基づき、全教師の共通認

識の下、年間指導計画を作成するものとするとあります。そもそも、年間指導計画と

は何でしょうか。学習指導要領解説第4章第1節2(1)にはこのように記載されて

います。

「道徳科の指導が、道徳教育の全体計画に基づき、各教科等の年間指導計画との関連をもちながら、生徒の発達段階に即して計画的、発展的に行われるように組織された全学年にわたる年間の指導計画」

つまり、道徳教育はもとより、すべての教科にかかわった重要な設計スケジュール

表であり設計図といえるものなのです。

### 弊社HPのひな形を利用して 効率よく作成できる

生徒たちに、道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度を養ってもらうように、各学年で実態に即した年間指導計画を作成して、毎時間の授業をしています。

作成にあたっては、学年の教師（それぞれの校務分掌の立場から）の意見を集約することも大切です。また、カリキュラムマネージメントを意識することも必要です。それでは、日本教科書のホームページで閲覧できる年間指導計画例を参考に、効率的につくっていきましょう。4月最初の教材『おはよう』を例に挙げて説明していきます。

<https://www.nihon-kyokasho.co.jp/guidance/>

まず、こちらのページにアクセスし、下方にスクロールしてください。「各種資料」の1年生のところに格納されています。

- 1年 おはよう
- ・主題名 内容項目のどの部分をその教材



弊社HPにアクセスし、スクロールして「各種資料」を表示。指導計画のうち、ExcelかPDFを選択しクリックすると、指導計画の表組が表示される。Excelならセルを追加してオリジナルも作成できる

指導の時間	指導資料	教材名	主題名	ねらい	学習の観点
4時	P44	おはよう	あいさつの意義	礼儀の大切さや挨拶の大切さなどについて、自分自身や周囲の人々への思いやりを育む。	道徳の基礎となる「挨拶」の重要性を認識し、実践する。
		おはよう	礼儀の大切さ	礼儀の大切さや挨拶の大切さなどについて、自分自身や周囲の人々への思いやりを育む。	道徳の基礎となる「挨拶」の重要性を認識し、実践する。

実際、作成にあたっては、道徳教育推進教師を中心に各学年の道徳担当者で作成しているという学校が多いようですし、市区町村によっては、教育委員会が指定したフォーマットに合わせてつくるというところもある



礼儀の意義について考える『おはよう』

## 年間指導計画は、すべて教科にかかわる 設計スケジュール表であり設計図。

でねらいの中心にするのかを端的に示します。教材を理解し、生徒に何を話し合わせたいのかという視点で考えましょう。

・ねらい 道徳的価値や道徳的な様相を端的に表しています。さらに教材の中のどの部分にスポットを当てるのかを示すによりわかりやすくなります。

例（礼儀に込められた意義などを主体的に考え……）

- ・主な発問 てびきに掲載した発問が示してあります。実際に授業で行う指導過程に沿って記述しましょう。
- ・評価の観点 指導過程と生徒の実態からこの授業ではどの部分を評価していくのかを考えましょう。また、何から評価するのか（ワークシート、発言、感想など）も記述しておくわかりやすいです。

**ひな形の内容を膨らませて  
指導計画をより充実させる**

この表のねらい、主な発問などの項目の他に以下の項目をつくってみましょう。

例えば、学年の道徳科における指導の基本方針に沿って以下の点を記述していきます。

- ・重点的な指導  
すでに教科書で内容項目に対し複数教材が配列されていますが、学年で重点項目を決め、教材を準備します。

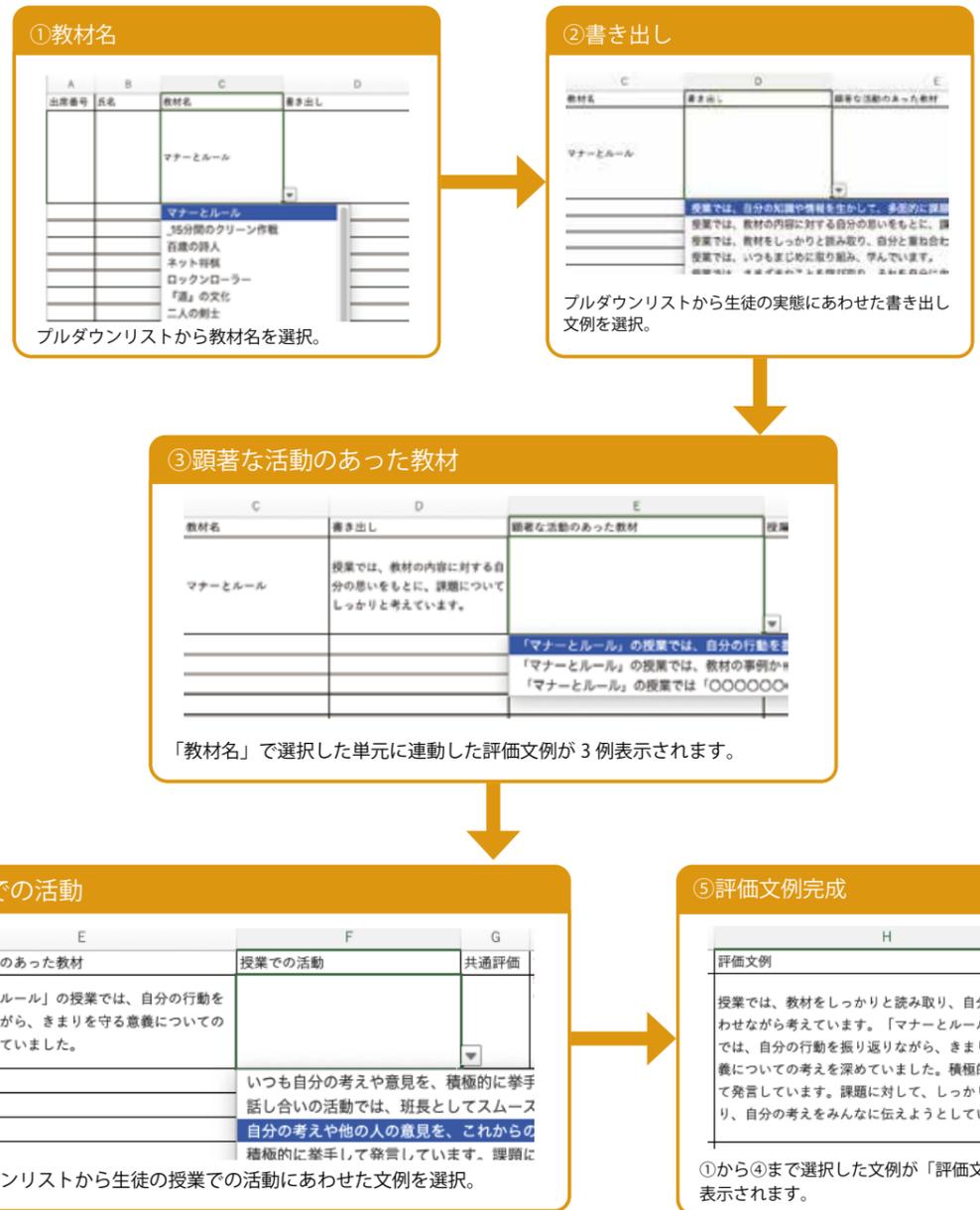
- ・行事、体験活動等との関連  
運動会の後に「よりよい学校生活、集団生活の充実」の授業を入れ、体験を振り返りながら考えさせる授業をするなど、関連を図って指導時期を決めていくといいでしょう。
- ・複数時間の関連を図った指導  
一つの主題を2単位時間など複数時間にわたって指導する方法も有効です。
- ・多様な教材の活用  
映像教材、地域に根ざした郷土教材など、多様な教材を活用することが考えられます。
- ・指導体制の工夫  
チーム・ティーチング、校長や副校長の参加、ローテーション授業、ゲストティーチャーなどの指導体制の工夫も大切です。

**評価は文例集を参考にしながら  
オリジナルを時短作成できる**

年間指導計画に従って授業を進め、評価の材料を貯めていきますが、弊社のホームページ上にある「評価の文例集」（前ページ表組参照）を利用すれば、効率よく作成できます。

評価期間全体の授業についての評価文例と、評価期間の中で特に顕著と認められる点が発揮された授業についての評価文例が入っています。参考にして評価文を書いてください。

**道徳評価文例の使い方**



道徳と他教科との関連が一目瞭然とわかる「別業」にもぜひアクセスを

・日本教科書メンバーページ  
<https://www.nihon-kyokasho.co.jp/nikka-memberpage/>  
パスワード  
nikkamenber



年間指導計画別業もホームページからダウンロードして作成できます。  
別業は「学校における道徳教育は道徳科

を要として学校の教育活動全体を通じて行うものである」という趣旨でつくられているものです。道徳との関連も意識して各教科の授業をしましょう。また、道徳科と各教科の相互に連携を図った授業計画を立て、指導の効果を高めることもできます。

[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018\\_011.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_011.pdf)



年間指導計画の作成にあたっては文部科学省が発行している「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」をもう一度読むことをおすすめします。とりわけ、第4章「指導計画の作成と内容の取扱い」を読み、参考にするといいでしょう。新たなアイデアも浮かんでくるかもしれません。



菅 明男  
(すげ・あきお)  
道徳教育  
研究者

日本道徳教育方法学会会員。元東京都立中学校主任教諭で、退職後も実践的道徳教育者として、長年道徳教育の現場経験と幅広い知識を生かし、講演、執筆活動を行う。全日本中学道徳研究会事務局次長、中学校道徳教育研究会研究部副部長、東京教師道徳助言者、文部科学省「心のノート」実践事例集作成委員を務めた。

**発達段階に応じた重点項目を決定し、  
多様な教材の使用や指導体制の工夫も不可欠。**

【特集】年間指導計画のつくり方

# 教材の特色を生かした関連のある学びをめざす ユニットを組む年間指導計画のつくり方

柏市立大津ヶ丘中学校 道徳教育推進教師 橋本 舞佳

一つの教材の道徳的価値が、複数の内容項目に関連していることで、中学校段階の教科書は内容が難しく感じることがあります。しかし、教材の特色を生かした「関連的な学び」や「補充・深化・統合」の視点を明確にもった授業の実現によって、道徳的価値に対する考えをより深めることができるのではないのでしょうか。

学習指導要領解説において、内容項目に関しては「関連的、発展的な取扱いの工夫」、年間指導計画の作成に関しては「配列の工夫」「計画的、発展的な指導ができるような工夫」「重点的な指導ができるような工夫」「各教科等、体験活動等の関連的指導の工夫」等について留意することが示されています。道徳科の指導の効果を高めるためには、創意工夫のある指導計画の作成が重要とされています。

## 道徳的価値の理解に「関連のある学び」が有効

私が年間指導計画を組む上で大切にしている考えは、①内容項目の関連性を生かして道徳の学びが深まるように教材を配列すること、②学校行事や他教科との補充・深

化・統合が図れるように教材を配列することの2点です。

中学校段階の教材は、内容の難しさに課題があります。その要因の一つは、教材が有する道徳的価値に複数の内容項目が関連していることではないでしょうか。その価値理解を深め、広げるためには「関連的な学び」が有効ではないかと考えています。さらに、「補充・深化・統合」の視点を明確にもつことで、自分の経験や他教科での学びとつながり、より考えを深めることができると思います。

そこで今年度は、ユニットを組んだ授業の実践を取り入れました。教材の特色から、次のようなユニットを年間指導計画に組み込んでいきます。

- ・1年生「いじめユニット」「思いやりユ

社会正義、友情、信頼の複数価値から3時間連続で考えました。

また、3年生の「相互理解ユニット」は学年の重点項目の学習を深めることをねらっています。「礼儀はなぜ必要なのか」「帰郷」「席を譲ってはいけませんか」を用い、関連のあるBの視点の教材を続けて配列しました。②の視点で作成したユニットでは、キャリア教育、林間学校、修学旅行との関連項目を、時期と重ねて学習できるようにしています。

## 生徒たちの心に響いた いのちユニット

どの学年にも「いのちユニット」を組み、3年間を見通した計画的、発展的な指導ができるよう工夫しました。3年生の実践の授業後の感想を紹介します。

### 生徒A

「いのちの絆」：振り返ると、今までいろんな人のおかげで生きてこれていたと思う。たくさん



橋本先生のオリジナル年間指導計画（簡易版）。右側には、各教材を配列した意図やユニットの趣旨が書かれている

いのち ユニット	D- (19) 生命の 尊さ	いのちの 絆	「いのちの絆」では生命が大切なのは、自分の生命の大切さに対する得解をもつ。その上で「ひさの命」では自己以外の生命の尊さへと価値理解を広げる。
	D- (19) 生命の 尊さ	ひさの星	



道徳教育推進教師として週1ペースで同僚の先生方に発行する『とくとく通信』。道徳のことを知り、お得な気持ちになってもらえたらという願いが込められている

人が支えてくれたり、助けてくれたりして生きていくから、自分の命は大切だと思ふ。「ひさの星」…この世の中で命があつて、誰かに大切に思われていない命なんて、絶対の一つもない。常に誰かに大切に思われていて、そういう人達のおかげで、今生きている。それを私たちは絶対に忘れてはならない。自分が命の大切さを理解しているから、人の命も大切に思えるんだと思う。前時で自己の生命の尊さを考えたことが生かされ、自己以外の命に対しても深く考えられることがわかります。1主題1単位ではなく、ユニットだからこそ得られた納得解でしょう。

道徳の時間は学校の教育活動を通じて行う道徳教育の要です。道徳の時間の大切さを、先生方も生徒も実感できるように、改善を加えながら、工夫した年間指導計画の作成と、その実践を継続していきたいと思ふいます。



橋本 舞佳 (はしもと・まいか)  
柏市立大津ヶ丘中学校  
道徳教育推進教師

前任校から道徳教育推進教師を務め、推進教師経験年数4年目の実践研究者。さまざまな研究会に参加し、多くの先生方から学びを得るばかりでなく、現勤務校では教職員向けに『道徳だより』を発行し、道徳教育及び道徳科授業の推進に努める。日本道徳科教育学会会員。

他の項目や他教科での学びとつなげる関連的な  
ユニットは道徳的価値に対する考えを深める。

生徒のワクワクする顔を想像して計画づくりを！

# 計画の手順を重視し建学の精神や地域教材を有機的につなぐ

浪速中学校 道徳教育推進委員長 松尾 大輔

私学ならではの建学の精神や地域教材を教科に生かす手順を重視した年間指導計画とは。公立学校とは授業環境が異なっても、生徒たちのワクワクする顔を想像しながら計画を練る松尾先生の手法は、各学校の特色や児童生徒の実態に合わせて創意工夫をして作成するうえで大いに参考になるのではないのでしょうか。

相撲の世界には「3年先の稽古」という言葉があり、常に3年先を見ずえて稽古や体づくりを計画して精進するといえます。道徳科の年間指導計画においても、卒業後の姿を思い浮かべながら期待を込めて楽しくつくりたいものです。

## 誕生日会を催すような気持ちで年間指導計画づくりを

道徳科の年間指導計画は、授業を計画的、系統的、発展的に行うための指針となるものであり、すべての内容項目に基づいた指導を行いながら、各学校の特色や児童生徒の実態に合わせて創意工夫をして作成することが望まれます。

私の学級では生徒の誕生日をはじめ担任、副担任の誕生日が開催されます。今年度、私は職員室でアフロのかつらを身に付けて計画が完成する（計画の完成）という段取りです。

つまり、目標から評価方法と基準、さらに個別の教材をつなぐことで、ストーリーリー化して指導計画を完成させる。こうすることで、指導と評価を一体化でき、目標達成に焦点を当てることができるのです。

それには、目標である喜んでもらえる道徳科の時間を含め、学校教育全体における道徳教育の全体計画と、重点目標を作成しておく必要があります。

本校では、授業実施前の実態調査、学期ごとの授業アンケート、年間を通じたアンケートを実施し、ルーブリック（評価する

本校では年間指導計画を作成する際に、この円を中心に印刷した紙を教員へ渡して、付箋を貼り、重点目標を決定したり、学校全体の教育活動との関連を考えるワークショップを開催している。



せられたうえ、目隠しされて教室に誘導されました。着くやいなや生徒たちの歌で迎えられる、全員からメッセージカードをもらいました。

年間指導計画の作成にあたっては「誕生日のサプライズ計画」と同じで、私はその気持ちと計画手順を大切にしています。相手が喜ぶ姿を想像してワクワクしながら計画する。年間指導計画も同様で、私は生徒たちが道徳の授業を楽しんで成長していく姿を想像しながら作成しています。

計画作成の手順を誕生日の計画に例えると、喜んでもらう（目標）↓相手が笑顔になったら成功（評価方法と基準）↓飾り付け、メッセージ作成、招待する、歌をうたう、メッセージを渡すなど（個別の計画をつなぎ、一つのストーリーにする）↓これで相手が笑顔になりそうだと判断したのち

ための指針）化された評価基準に照らし合わせて次年度へ活用しています。

## ユニットを組み教材間を有機的につなぎ理解を深める

本校では個別の教材の配列の工夫をこらし、およそ1か月ごとにユニット化した上で、1年間の計画を一つのストーリーとして作成しています。

例えば、「よりよい学校生活、集団生活の充実」を目指した場合、「節度、節制」↓「向上心、個性の伸長」↓「友情、信頼」↓「よりよい学校生活、集団生活の充実」という配列を組むことで教材間を有機的につなぎ、生徒たちに納得と理解を深めることができるよう取り組んでいます。

コロナ禍や多忙な学校業務の中で、学校行事の統廃合が進んでいます。今だからこそ日常生活をはじめ、特別活動や各教科等との関連を図ることで道徳教育の効果向上を目指したいものです。

例えば体育大会の時などは全ての学年が同一教材で学習するなど、学校全体で充実した活動にできるよう工夫しています。

また、本校は神社神道の「浄・明・正・直」を建学の精神としており、神社への参拝や総合的な学習の時間において神道を中心とした教育活動を展開しています。このあたりが公立校との大きな違いなのですが、教

### 指導計画例 1年P.114～119 教材名「もも子」

月日	10月27日	内容項目	社会参画
ねらい	ゴミを拾うもも子の姿から社会参画しようとする態度を育む。	教材名	もも子
教材の特徴	もも子が喜びながらゴミ拾いをしている姿から社会参画への意欲・態度を育むことができる。		
指導（教材の活用・発問等）	・身近な体験や課題を生かしながら、多面的・多角的に考え深めようとする指導が大切。 ◎住職さんやもも子から、どんなことを学びましたか。		
その他	単にゴミを拾うことではなく、社会を良くするという視点。		

材にある地域の伝統的行事の内容を体験している生徒が多いため、その体験を振り返ることで、実感のともなった喜びや葛藤などを真剣に語り合うことができます。道徳科の授業と暮らしが有機的につながることで、自己の発見と自己確立を促し、価値の再構成と創造を導き、豊かに育むことができると考えています。

さて、年間指導計画に話を戻しましょう。本校ではしなやかで柔軟性のある計画を目指しています。一度つくった計画を形式的に繰り返すのではなく、前年度の改善点とともに、児童生徒の実態の変化や教職員個人の個性に合わせて毎年度作成しています。毎年度、改善をしながら、その年度にできる最高のものを常に計画していく姿勢を大切にしているからです。

今後、生徒たちが喜び成長する姿を想像して作成した年間指導計画だからこそ、実行し熱意を胸に授業づくりに励みたいと考えています。



松尾 大輔（まつお・だいすけ）  
浪速中学校  
道徳教育推進委員長

全国でも珍しい神道科（宗教科）の教員であり、同校の道徳教育推進委員長として校内研修の充実を目指している。わかりやすく楽しい道徳の授業を追求するとともに、最近では大学での講演や道徳の勉強会を主催するなど、校内の枠を超えて精力的に活動している。

学校行事が縮小されている今こそ日常生活や特別活動や各教科の連携を図る必要がある。

## すぐに役立つデジタル授業のツボ【第2回】

# 使いやすい機能満載。しかも無料！ グーグル・クラスルーム

京都芸術大学 文芸表現学科 講師  
小倉 千明



このところ増えてきたオンライン授業の機会。教育の現場でも通信技術を活用したコミュニケーション「ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）」やクラウドの活用が促されています。授業以外でも、教員会議やプライベートなど、利用する側として求められる場合もあります。なんとなくとっつき難いICTですが、実は授業で役立つ点もたくさんあるのです。

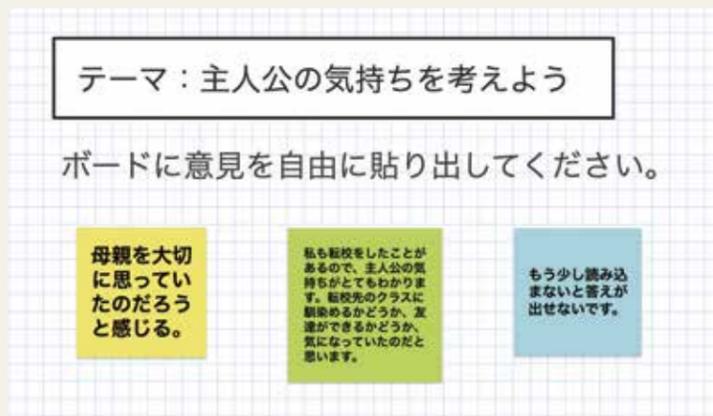
今回取り上げるのは、教育機関でも導入が進みつつある「Google classroom（グーグル・クラスルーム）」です。生徒との交流が円滑になったり、授業の準備がラクになったりするツールが満載で、対面授業の場合にも役立つ機能が備わっています。私が授業内で取り入れてみて、便利だと思った「グーグル・クラスルーム」のいくつかの機能をご紹介します。

### 匿名で意見交換の場が作れる

「Google Jamboard（グーグル・ジャムボード）」は、いわゆるオンライン上のホワイト

ボード。黒板に書くように文字が書けます。カラーペン、マーカーを使えば、強調したい箇所も示せます。なかでも、おすすめなのは「付箋」機能。例えば、アイデアや意見を生徒たちから集めたい時、生徒たちが意見を書いた付箋を匿名でホワイトボードに貼り付けることができます。黒板に書かせる場合、周囲の目を気にして本音を書き渋る生徒も多いですが、グーグル・ジャムボードでは匿名性が保たれるため、生徒が自分の意見を素直に発言することができるのです。

また、遠隔で画面を通してライブ授業ができる「Google Meet（グーグル・ミート）」もお



「グーグル・ジャムボード」の画面。グループ化や可視化もできるので、授業のまとめにも活用しやすい

すすめです。先生と生徒が双方向で対話ができるので、今やオンライン授業に欠かせないツールとなっています。一番のメリットは、画面や動画を生徒と一緒にしながら授業ができること。授業内容の補足をするために、Youtube動画、ウェブサイト表示、PDFで補足資料などを映し出せるので、生徒の授業内容の理解も深まるでしょう。そのほか、ライブ授業内容の録画保存もできるという機能も活用してみてください。録画した動画を他のクラスの生徒に見せたり、教員同士で授業内容の共有ができたりなど、さまざまな場面で活用できます。

### 小テストの実施、アンケート集計が簡単

「グーグル・クラスルーム」にある「テスト付きの課題」という項目を使えば、生徒に簡単な小テストを出せます。正誤問、選択肢、記述式など、さまざまな形式に対応しています。オンライン上の採点もでき「返却」をクリックすると、生徒にコメントを添えて採点結果を伝えられます。回答していない生徒も一覧で簡単に把握できます。さらに「グーグル・フォーム」機能で、授業内での簡単なアンケートも可能。アンケート集計結果を自動作成で図式化してく



「グーグル・フォーム」を使えば、集計結果も一目瞭然。生徒間では匿名が確保でき、先生側では誰がどの記述をしたか判別できる

れるので、自分で作成する手間も省けて便利でしょう。

### 印刷不要！授業の資料づくりがラクに

授業のための資料づくりは、意外と時間がかかるもの。先程の「グーグル・ミート」を使えば、エクセルやワードで作成した資料を画面共有することで、生徒の人数分印刷をする手間が省けます。事前に配布する資料や宿題プリントなども、「グーグル・クラスルーム」の「資料」という項目を使えば、生徒それぞれに、パソコンで作成した資料をそのまま送れます。もちろん、動画やウェブサイトのURLリンクも同様に可能。資料を受け取った生徒から、質問事項を受付けて、それにコメント説明を加えることもできます。

また「グーグル・クラスルーム」には、「グーグル・ドライブ」というデータを保存できる機能があります。データはパソコンではなく、オンライン上のクラウドに保存されるため、パソコンの容量が重くなりません。学校現場で増えがちな写真や配布資料データも、ここに保存できます。設定をすれば、他の教員や生徒ともクラウド上で写真や資料データを共有できるので、印刷して郵送するというやりとりも不要になります。

「グーグル・クラスルーム」内にある、いくつかの機能をご紹介します。全部ではなくても部分的に活用してみると、これまで煩雑だった作業が短縮できる場合もありそうです。まずは一度「グーグル・クラスルーム」を触ってみてくださいね。

# 出会い、ふれあい、学びあう

「生き方」から学び、「生き方」を見つめ、「生き方」を創造する。  
これが私達の目指す「道徳」です。

～日本教科書からのお知らせ～

## 先生方の授業を支援するメンバーページを作成しました

道徳が教科化されてから早くも3年が経ちましたが、授業での問いかけや板書、そして評価など、疑問に思う点や不明な点があることでしょう。

また、他の教科と比べ、どうしても実践事例もまだ数が少ない現状があります。そのような環境で、いまだ不安を抱きながら取り組まれている先生方も多くいらっしゃるかもしれません。

メンバーページでは、研修の動画を閲覧できるページや、各種資料集の配布ページなどのコンテンツを充実させていく予定です。

これからより一層先生方の道徳授業をより豊かにするサポートを行っていきます。

### メンバーページへのアクセス

日本教科書メンバーページには

<https://www.nihon-kyokasho.co.jp/nikka-memberpage/>に広報誌に記載しております  
パスワードを入力すればアクセスできます。

不明な点がございましたら[info@nihon-kyokasho.co.jp](mailto:info@nihon-kyokasho.co.jp)までお問い合わせください



## 日科 中学道徳通信 VOL. 5

令和4年 1月15日発行

発行所 日本教科書株式会社

発行人 奈良 威

編集人 三星 雅人

デザイン 村上 顕一

表紙イラスト 青木 俊直

本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、作成されています。  
本書の無断転載・複製を禁じます。



道徳専門の教科書会社

日本教科書

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-12

TEL 03-3518-6345 FAX 03-3219-0660

<https://www.nihon-kyokasho.co.jp>